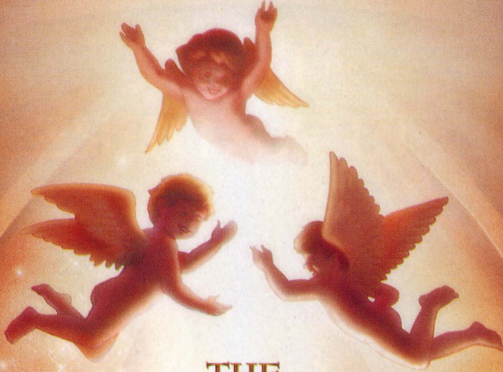


ただそばに
いるだけで、
幸せだった。



THE
DOG
OF
FLANDERS



フランダースの犬

Story: Ouida Screenplay: MIHO MARUO Music: TARO IWASHIRO Directed by: YOSHIO KURODA
A SHOCHIKU/NIPPON ANIMATION/MITSUI & CO.,LTD./FUJI TELEVISION Presentation



THE DOG OF FLANDERS



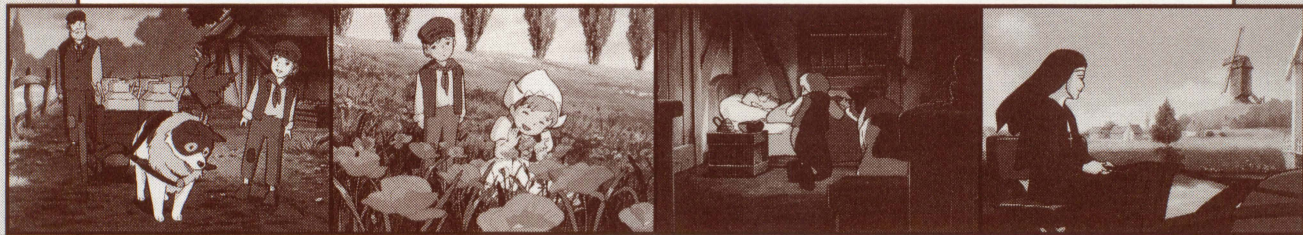
今ふたたびよみがえる、いつまでも透明な物語。

あの『フランダースの犬』が映画になって帰ってくる。

1975年のテレビシリーズ放送当時、日本中を涙でつつみこんだ名作中の名作『フランダースの犬』。平均視聴率25%を維持し、感動の最終回では30%を記録、テレビ局には「ネロとパトラッシュを死なせないで!」と投書が殺到するなど、それは当時の子ども達にとっては一大事件のような出来事だった。そして、あれから22年。今、永遠の名作が、初の劇場版長編アニメーションになってよみがえる。

クリスマスの夜、奇跡が起こる。 「パトラッシュ、僕たちずっと一緒だね」

19世紀のベルギー、フランダース地方。おじいさんと牛乳運びで生計を立てる少年ネロと愛犬パトラッシュは、貧しいながらも幸せに暮らしていた。ネロの夢はルーベンスのような画家になること。そんなネロのささやかなが幸せな日々は長くは続かなかった。おじいさんの死、風車小屋の放火の容疑、絵画コンクールの落選…。次々とネロの身に不幸が降りかかる。そして、クリスマスの夜。全てを失ったネロが大聖堂で見たものは、ずっと憧れていたながらも決して見ることの叶わなかったルーベンスの2枚の絵だった…。



ルーベンスの故郷ベルギー・アントワープ。 今でもここにネロとパトラッシュは生きている。

TV放映終了後、ベルギーを訪れた多くの日本人観光客が決まって「フランダースの犬」のことを訊ねるので、フランダース政府はこの物語の調査を開始、そして1985年、ファンの声に答える形でネロとパトラッシュの銅像が建てられ、今では観光名所の一つとなっている。

フランダースの犬

原作：ウィーダ 製作：奥山和由、本橋寿一、小浜廉太郎、重村 一 監督：黒田昌郎 脚本：丸尾みほ キャラクター・作画監督：佐藤好春
音楽：岩代太郎 キーアートデザイン：ウォーレン・ナン & ジョニー・クワン(100%, LLC)
製作：松竹株式会社 / 日本アニメーション株式会社 / 三井物産株式会社 / 株式会社フジテレビジョン
後援：ベルギー国大使館 / フランダース政府代表部 配給：松竹株式会社